



自強不息

たゆまず自ら努め励む



文部科学大臣賞を受賞



600人余が来場

県立藤枝北高がこのほど、神奈川県などで開かれた「第64回日本学校農業クラブ全国大会」のプロジェクト発表の「文化・生活の部」で最優秀賞（文部科学大臣賞）を受賞した。

**学校農業クラブ全国大会
藤枝北高が最優秀賞**

志太地域を元気にすること!!
担当の西尾先生



尽力しているようだ。北高ストアの盛況さも併せて、生徒の活躍を見て私も自慢に思った。



同窓会副会長

松葉義之さん

全国優秀賞を自慢

前年度も参加したが、学生達の商品に対する説明が熱心で、心が引かれた。来年も来たい。

島田駅前の渡部さん



品物を買う同窓生

去る11月23日、本校第二体育館を会場に「元気のおすそわけ『北高ストア』」を開催しました。10時間開場でしたが、8時から並んで下さる人がいるなど、六百余人の来場者があり、ほとんどの商品が完売。

三つの商品

『北高ストア』の販売商品は大きく三つに分けられます。一つは、本校で生産した農産物や食品。二つ目は、高校生がバイヤーとなって探出した志太地域のこだわりの農産物や食品。三つ目は、高校生が農家や加工業者をコーディネートして開発した新商品です。

志太地域のこだわり農産物は、高校生が夏休みに担当する農家へ出向き、実際に話を聞いて、栽培現場を見て、食べて、選んだものです。つまり、生徒に認められた農産物や食品だけを販売しているのです。この体験は、学校で農業を学んでもない、地元で行ったことがない、地元で生産されている農産物など知らないという高校生にとっては、農産物を見る目を養い、農家の生き方に触れることによって、地域や農業への興味、関心を持つ良い機会になっています。

食材から販売まで生徒の創意
食料の調達、工場への作製依頼、包装紙のデザインや印刷、宣伝、販売先の開拓等、商品販売までの全てを高校生が行っています。苦労は多いですが、企業の考えに左右されないため、イベントだけの短期間の商品ではなく末永く地元で根づく商品にしていきたいと考えています。

生産、消費、加工のつながり
この『北高ストア』のテーマは「つながり」です。生産者と消費者と加工業者など高校生がつなげ合わせることで、志太の地域を元気にすることを目的とした活動こそが『北高ストア』なのです。

同窓生の出品も!!



沢山の品物が並び、後輩の活躍に感銘した。

『北高ストア』は大市場のようだった、更なる地域貢献に期待しております。

大市場のようだ
同窓会副会長

伊東良娘さん



静岡から
毎回来ている女性



貴重な体験ができたというに語る生徒達が印象的だった。なかでも、お茶の販売をしていた三年の女生徒、将来は親の仕事を手伝うと言っていた。静岡市からの通学のようにだが、是非頑張ってもらいたい。



同窓会から大会出場生徒に奨励金を贈る

市内から訪れた女性

バザーの品物が半日で売れてしまう程の盛況ぶりに感心した。PR不足はないと云うが、お客様の要望は品物をもっと多く扱う事が大切だと思います。半日で完売したコーナーもあり、盛況ぶりは他に例がないと思いました。

後輩に拍手

五十回卒

木野謙一さん



私達の時代には考えられないことだった。今後同窓生のストアへの出品もどうか。すばらしい『北高ストア』に拍手だ。

きくらげを販売

二年

田中魁威さん

きくらげを販売した。選択科目の為、いろいろ勉強できてよかった。今日はその説明をして、たくさん売れたので楽しかった。

支部活動

支部の組織づくりは同窓会の主目標
左の支部長さんが組織づくりに奔走
してくれている

組織づくりができた支部

平成二十五年十二月現在
朝比奈(進行中)、葉梨、西益津、青島、高洲、焼津、
大富、静浜、吉永、大長、伊久美、初倉、川根、
豊田(進行中)
豊田支部は会員は四〇五人、副支部長と共に地区内
を十一地区に分け、二日
間かけて地区役員を依頼。
全員が引き受けてくれ、
発足の準備ができました。
地区役員その他に女性三人
にも依頼しました。
近々集って結成をを考え
ています。

豊田支部長 青島洋侑
○焼津支部長が石野恵一さんになりました。
○50回幹事の松永正敏さんが亡くなられた為、現在選考中。



校歌を歌って葉梨支部総会の締め

支部長の面々(12月14日 自彊館前)



川根本町 宮下浩之	川根 守谷正幸	初倉 興津喜祐	島田 塚本薫久	大長 亀山富士雄	六合(代) 森 孝雄	吉永 河野行雄	静浜 増田一彦	大富 増田勝司	豊田 青島洋侑
焼津 鈴木芳男	東益津 原川節夫	大洲 増田時雄	高洲 曾根貞夫	青島 松浦一郎	稲葉 鈴木 有	西益津 西形倍夫	葉梨 秋山録治	朝比奈 村越弘司	

会員の絆が同窓会を元気に!!

支部会	10,000円
支部役員会	5,000円
同期会	10,000円
同級会	5,000円

◎各会を開催した時に同窓会から上記の補助が支給されるので届けて下さい。

“葉梨支部総会”が開催される

葉梨支部 副支部長 大塚博巳

- 日時 平成25年9月7日(土)
会場 ザ・グランドティアラ 藤枝
- ①秋山支部長のご挨拶、松葉副会長(本部)のご挨拶からスタートしました。
 - ②藤枝北高教諭の後藤先生より学校の現況等について説明がありました。
 - ③同窓会を盛り上げるには、先ず葉梨支部内(各町内)にて、藤枝北高の“同窓会だより”を配布することにより、同窓生とのコミュニケーションを図ると共に名簿のチェック等、会員の調査に役立てる。
 - ④懇親会では参加者が現況報告をし合い、情報交換しました。
 - ⑤フィナーレとして円陣を組み、校歌を合唱して無事終了しました。
- 当日は20名弱(開催時期が反省点)と、さみしい状況ではありましたが、先輩・後輩の絆を越えて盛り上がり、参加者は楽しく過ごしました。

事務局頑張ってます(紹介)

同窓会の事務局局長 後藤克己先生は同窓生で、授業を受持ちながら永年の経験を基に私達の同窓会をリードしてくれています。
玄関奥の事務局には木村順子さんと石間麻澄さんが在職されており、同窓会の経理や連絡等に学校との架け橋として大変ご尽力いただいております。一度訪ねてみて下さい。

藤枝市長旗争奪

藤枝北野球部が快挙

2013年11月16、17、23日藤枝市長旗を手にした藤枝北ナインが汗を流している。女子マネの守屋晴香さん(2年)は優勝してから大きな声が出るようになった。昨秋は中部大会の初戦で静清に4-13、敗者復活戦でも藤枝明誠に0-3で一勝もできなかった。藤枝市長旗ではリベンジに燃え、打撃強化に努めバットを振り込んできた。中沢勇監督が左右両方でのティー打撃が奉功し、俊足の切り込み隊長北原孝基主将(2年)がみんなチャンスに打って快挙を成し遂げたと振り返り、夏の大会に向け猛練習に励んでいる。市長旗争奪の成績は次の通り
(スポーツ報知 一部抜粋)



藤枝北	4000	1000	1000	1000	72
明誠	0000	0000	0000	0000	54
静清	0000	0000	0000	0000	35

山崎会長のもと

同窓会ゴルフ会始動

静岡県ゴルフ連盟の副会長でもある山崎正行さんのもとに四十二人の会員が集まり、昨年十一月二十一日藤枝ゴルフクラブに於いて、七組に分かれて気温十五度の中スタートしてプレーを楽しんだ。優勝は齊藤富年さん、準優勝は鈴木 齊さんでした。
役員は副会長 杉本 肇、幹事事務局会計 水野敏和、運営委員 小野田健司、市澤末廣、鈴木力雄、島野英行、原田裕さん、顧問に同窓会副会長 亀山さんを選出した。
今年は五月二十日(火)藤枝ゴルフクラブで計画された。



全国高校サッカー

藤枝北26年ぶり決勝T

昨年10月全国高校サッカー県大会でAブロックの藤枝北は清水東に続き、富士市立を2-0で破り二次リーグを突破、26年ぶりに決勝トーナメント進出を決めた。
決勝トーナメント進出校は藤枝北、加藤秀、飛龍袋井、清水商、常葉橘、磐田東。
(スポーツニッポン 一部抜粋)



高校の統廃合進む

- 静岡工業+清水工業+科学技術高校 (2008年)
- 森高+周智高+遠江総合高校 (2009年)
- 修善寺工業+大仁高+伊豆総合高校 (2010年)
- 清水商業+庵原高+清水桜が丘高校 (2013年)
- 静岡南高+静岡市立商業+駿河総合高校 (2013年)
- 大井川高+吉田高+清流館高校 (2014年)
- 天竜林業高+二俣高+春野高+天竜高校 分校として春野校舎 (2014年)

編集のあとで

同窓会は役員だけのものではあつてはならない、己の人生の礎を築いてくれた母校の情報を会員に提供し、反対にみなさんからの提言をいただき、同窓会だよりは会と会員のキャッチボールのボールでありたい。
更に、支部活動等を通じて会員の絆と意識を高め更なる同窓会にと編集に励んでいます
(かめやま)